

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【公開番号】特開2019-42253(P2019-42253A)

【公開日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2019-011

【出願番号】特願2017-169923(P2017-169923)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年6月26日(2019.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行可能な遊技機であって、

演出表示手段と、

可変表示に対応する特定表示を前記演出表示手段に表示可能な特定表示手段と、

演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記特定表示手段は、前記特定表示を第1表示態様と該第1表示態様とは異なる第2表示態様とで表示可能であり、

前記演出制御手段は、

前記特定表示の表示態様が前記第1表示態様から前記第2表示態様に変化する際に、前記特定表示に作用する作用演出と、

前記演出表示手段の少なくとも一部の視認性を変化させる視認性変化演出と、

前記作用演出の実行を示唆する第1示唆演出と、該第1示唆演出とは異なる第2示唆演出と、を実行可能であり、

前記第2示唆演出を実行したときは、前記第1示唆演出を実行したときよりも高い割合で前記作用演出を実行可能であり、

前記作用演出を実行する際に前記視認性変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段1に記載の遊技機は、

可変表示を実行可能な遊技機(例えば、パチンコ遊技機1)であって、

演出表示手段(例えば、画像表示装置5)と、

可変表示に対応する特定表示を前記演出表示手段に表示可能な特定表示手段(例えば、アクティブ表示エリア81SG5Fや、第1保留記憶表示エリア81SG5Dや第2保留記憶表示エリア81SG5Uに表示されている保留表示)と、

演出を制御する演出制御手段（例えば、演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、
前記特定表示手段は、前記特定表示を第1表示態様（例えば、白色）と該第1表示態様
とは異なる第2表示態様（例えば、青色や赤色）とで表示可能であり、

前記演出制御手段は、

前記特定表示の表示態様が前記第1表示態様から前記第2表示態様に変化する際に、前記
特定表示に作用する作用演出（例えば、図 8 - 2 7 (L) に示すように、槍 8 1 S G 6 0
3 がアクティブ表示エリア 8 1 S G 5 F に刺さる作用演出）と、

前記演出表示手段の少なくとも一部の視認性を変化させる視認性変化演出（例えば、図 8
- 2 7 (M) や図 8 - 2 7 (N) に示すように、画像表示装置 5 に表示されている画像全
体を左右に振動させる振動表示演出）と、

前記作用演出の実行を示唆する第1示唆演出と、該第1示唆演出とは異なる第2示唆演出
と、を実行可能であり、

前記第2示唆演出を実行したときは、前記第1示唆演出を実行したときよりも高い割合で
前記作用演出を実行可能であり、

前記作用演出を実行する際に前記視認性変化演出を実行可能である（例えば、図 8 - 2 7
(L) ~ 図 8 - 2 7 (N) に示すように、アクティブ表示エリア 8 1 S G 5 F に槍 8 1 S
G 6 0 3 が刺さった後に画像表示装置 5 に表示されている画像全体が左右に振動する部分
）ことを特徴としている。

この特徴によれば、演出効果を向上させることができ、遊技興趣を向上できる。